

平成26年度前期選抜 学校独自検査

出題のねらい

宮城県仙台第二高等学校

(作文検査)

【小論文】

中学校段階で身につけていると思われる「社会」の基礎学力、正確な知識、文章による表現力をみた。

第一問（主に地理分野）

日本の農業を取り上げ、農業に大きく影響を与える気候・地形の自然的要因と、日本の農業の課題についての設問とした。基本的な知識を問う問題に加え、地理的思考力・判断力、及び各種資料の読み取る力を問うことで、地理的な技能を見た。

第二問（主に公民分野）

グローバル化について、日本経済や貿易の推移に関連するテーマを取り上げ、現代の社会事象の多様な側面を理解しているか、多角的・多面的に考察し表現する設問とした。

まず、為替についての基本的な知識を問い、次に国際化する日本の工業の地理的・歴史的背景について基本的な知識を問い、最後に2つの資料から読み取れることを論述する技能を見た。

第三問（主に歴史分野）

アジアに進出した大航海時代のヨーロッパ諸国の動きについて、当時の勢力分布図やキリスト教の布教活動に活躍した人物資料からその歴史的背景を考察させ、論理的に表現する力をみた。さらに、同時期の日本の特徴を考察させるため、戦国大名が定めた分国法資料を示し、彼らの領国経営について述べさせる設問とした。

【小論文】

水の状態変化という日常にありふれた現象について、熱の出入りという観点から、科学的思考力を問う問題とした。理科全般に関する正確な知識と、中学校の教科書にある図や表から読み取れる内容を的確に把握し論理的に考えて表現する力をみた。日常の自然現象を、ときに微視的にときに巨視的にとらえ、分野ごとの断片的な知識を持つだけでなく、それらのつながりを考えられる応用力も身に付けてほしい。